

事業番号	06 05 02	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	保護対策事業費			担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト	6-4-2	誇りある暮らし実現プロジェクト	課・局・室	自然保護課		
	施策の総合的展開	3-2	豊かな自然環境の保全	E-mail	shizenhogo@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-1	賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり	実施期間	S46 ~		
	施策展開	4-(2)	信州に根付くつながりの継承 (イ) 住民主導による地域の活性化				

1 事業の概要

目指す姿	長野県の動植物の効果的な保護が展開され、絶滅の危険性が減少し、我々県民の生活基盤である生物の多様性が維持・改善される。 『生物多様性ながの県戦略』の中長期目標、『「人と自然が共生する信州」の実現』が達成される。 【希少野生動植物の保護回復事業計画策定種数:15種(平成32年度)】		
現状(予算編成時)	長野県希少野生動植物保護条例による捕獲等の規制(指定種73種)、保護回復事業計画(12種)を策定。 特定外来生物の普及啓発等を実施しているが、依然、開発、里山の放置、外来生物、温暖化などの影響により希少種を始め長野県の豊かな生物多様性が脅かされている。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 自然公園法、生物多様性基本法、長野県希少野生動植物保護条例	
	県民との協働による実施: 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)			
	・希少野生動植物保護回復事業計画策定数 累計:14種(昨年度以上)			
	・ネットワークの参加団体数 累計30団体(現状の2倍)			
	② 事業内容 (単位:千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算) (当初)
	人と生きもの パートナーシップ推進事業	直接委託	・生物多様性保全体制構築(パートナーシップ協定3件締結) ・ライチョウ緊急保全対策事業(委託先:信州ライチョウ研究会) ・多様な主体との協働によるホットスポット保全対策事業(チャマダラセセリ保護柵設置等)	10,331 8,918 1,609
	希少種戦略構築事業	直接	・希少野生動植物保護回復事業計画の策定等(1計画策定) ・希少野生動植物保護監視体制の整備	730 300 8,242
	外来生物戦略構築事業	直接委託	・外来生物の分布等調査 ・駆除技術開発 ・駆除事例づくり	- - 2,273
自然環境保全地域等標識設置事業	直接	自然環境保全地域等の標識等の設置、更新(1箇所)	256 256 256	
自然探勝会事業	委託	障がい者を対象とした自然探勝会の開催(委託先:長野県手をつなぐ育成会)	600 600 600	
事務経費(経常)	直接	電話代・コピー代等	539 489 535	
合計			12,456 10,563 13,515	

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越	27年度	28年度	29年度	項目	H26末	H27末	H28			H29目標
		当初予算	12,891	12,456	13,515				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-3,564	-859	0	保護回復事業計画策定数(累計)	12	13	14	14	達成	-
		合計(A)	9,327	11,597	13,515	生物多様性保全活動協働事業実施種数(累計)	12	13	-	-	-	-
	Aの財源	一般財源	5,832	9,271	11,121	生物多様性ネットワークの参加団体数(累計)	-	15	30	30	達成	40
		県債	0	0	0							
		国庫支出金	0	0	0							
		その他	3,495	2,326	2,394							
	決算額(B)	8,652	10,563									
概算人件費	職員数(人)	2.80	2.80	2.80								
概算人件費(C)	23,173	22,159	22,159									
概算事業費(B(A)+C)	31,825	32,722	35,674									

目標に対する成果の状況	・保護回復事業計画の策定数を、目標どおり達成することができた。 ・生物多様ネットワーク参加団体数について、企業や団体への説明等の活動を通じて目標を達成することができ、社会全体で生物多様性を守る仕組みが定着しつつある。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・生物多様性の保全の推進に向けて、多くの企業や学校、団体の活動参加を促すとともに、取組を一層推進するため、参加団体数を前倒しで増やせるよう引き続き事業に取り組む。